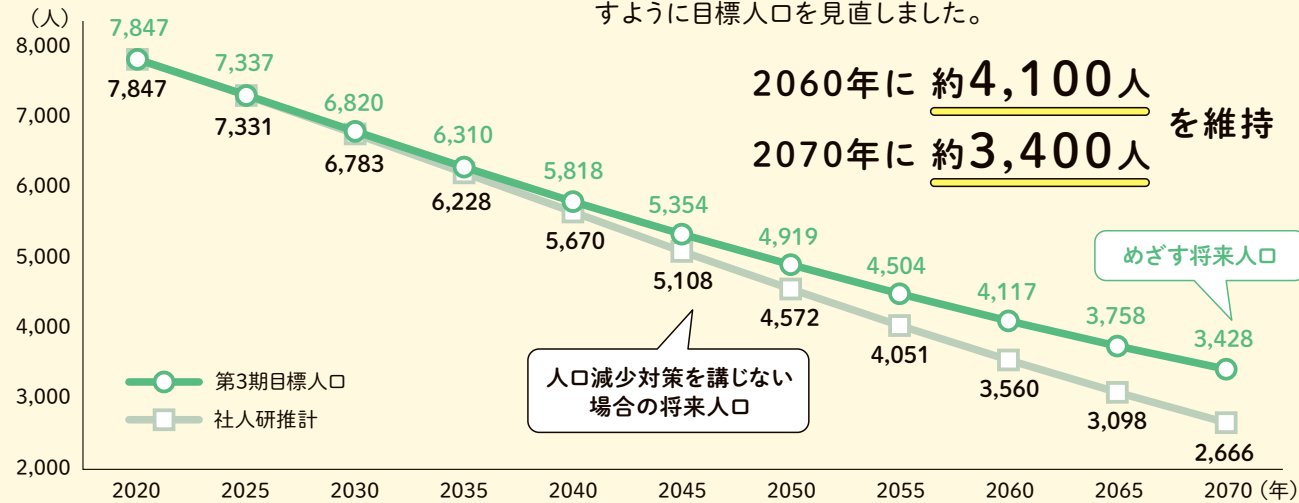


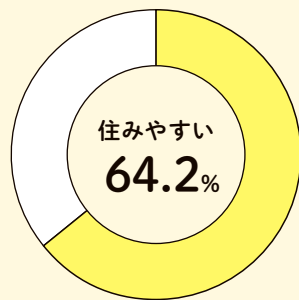
目標人口を見直しました

町では2021年(令和3年)に人口ビジョンを策定し、2060年に約5,000人を目標としていました。しかしながら、予想を上回るペースで減少が進んでいるため、今回以下のグラフに示すように目標人口を見直しました。



まちづくりに関するアンケートから

度会町の住みごころは？



6割以上の方が住みやすいと回答しています

度会町の誇り・魅力は？

- | | | |
|----|------------------|-------|
| 1位 | 宮川・一之瀬川 | 54.7% |
| 2位 | 宮リバー度会パーク、遊水プール鏡 | 44.3% |
| 3位 | のどかな茶畑、田園風景 | 34.2% |
| 4位 | 住んでいる人のよさ | 18.2% |
| 5位 | お茶やお米などの特産品 | 17.3% |

参加してみたい地域活動は？

- | | | |
|----|-----------------|-------|
| 1位 | 防災、防犯、交通安全の活動 | 22.8% |
| 2位 | 祭り、イベント | 20.5% |
| 3位 | 自然環境を守る活動 | 18.8% |
| 4位 | 健康づくり、スポーツ活動 | 18.7% |
| 5位 | ゴミ拾いや花づくり等の美化活動 | 18.3% |

計画策定にあたり、たくさんの方からご意見をいただきました

中学生ワークショップと提言

3年生の皆さんが、「将来どんなまちになっているとよい」「そのための課題はどう解決すべきか」について話し合い、まちづくりへの提言をいただきました。



総合計画審議会

14人の委員の方がまちづくりの基本的方針や具体的施策について、熱心に議論いただきました。

まちづくりに関するアンケート

無作為に抽出した1,000人にお送りし、600人の方からご意見をいただきました。

パブリックコメント

原案に対し幅広く意見を募集したところ、4人の方からご意見をいただきました。

第7次
度会町総合計画

後期基本計画

2026～2030

めざす
将来像

みらい わたらい わかち
～ 想いはぐくみ、幸せつなぐまち～

度会町では2021年(令和3年)に策定した「第7次度会町総合計画」の前期5年間の取り組みを振り返り、課題を整理したうえで、このたび後期基本計画を策定しました。

将来像の実現に向け、町民の皆さんとともに次の一步を進めていきます。後期基本計画本文もぜひご一読いただき、引き続きまちづくりへの参画をよろしくお願いします。



▲
計画本文は
こちらから

1

重点
プロジェクト

みらいに羽ばたく、 子どもたちを応援するまちづくり

子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、安心して学び、健やかに成長できる環境を整えます。地域や学校、家庭が連携しながら、未来を担う子どもたちの夢と挑戦を力強く後押しします。

今後の
主な
取り
組み

① 母子保健の充実

- ・妊娠中、一人一人に応じたサポートプランで伴走的に支援します
- ・参加してもらいやすいパパママ教室の開催により、夫婦での子育て意識を育みます

② 子育て支援の充実

- ・保育所での「こども誰でも通園制度」により、すべての子どもの育ちを応援します
- ・放課後児童クラブの対象学年を6年生まで拡大することを検討します

③ 学校教育の充実

- ・小中連携を活かした9年間の学びで、子どもの「生きる力」を育みます
- ・地域の自然や産業体験学習を充実させ、地域を誇りに思える教育を進めます

2

重点
プロジェクト

みらいのわたらいファンを つかむまちづくり

度会町の魅力を広く発信し、人と人とのつながりを育むことで、町に住む人、訪れる人、応援してくれる人を増やします。町内外の交流を深め、未来へと続く関係人口の輪を広げます。

今後の
主な
取り
組み

① 地域資源を活かした人の流れの創出

- ・宮リバー度会パークを拠点に、にぎわいの創出と交流拡大を進めます
- ・ふるさと納税や体験プログラムを通じて、関係人口づくりに取り組みます

② 移住・定住の促進

- ・集落支援員を新たに導入し、移住後の生活をサポートします
- ・賃貸や店舗活用など、空き家バンク制度の多様化を進めます

③ 広報・広聴の充実

- ・SNS等の活用により、誰にでも伝わる情報発信を進めます
- ・町の魅力を積極的に発信し、まちへの愛着心や関係人口の拡大につなげます

みらい わたらい わかちあい

4つの 重点プロジェクト

みらいをわかちあい、
幸せな暮らしを
次の世代へつなげる
まちづくり

3

重点
プロジェクト

みらいを照らす 地域資源を活かしたまちづくり

豊かな自然や歴史、地域の知恵を活かし、持続可能な産業と再生可能エネルギーを育てます。町の強みを未来の力へと変え、暮らしを支える産業と脱炭素の取り組みを推進します。

今後の
主な
取り
組み

① 脱炭素社会実現に向けた取り組みの推進

- ・「脱炭素先行地域づくり事業」を通して、地域の脱炭素化に取り組みます
- ・再生可能エネルギーの普及を地域全体で進めます

② 地場産業の振興

- ・設備投資や経営改善、販売促進を支援し、地域産業の振興につなげます
- ・米や茶のブランド化を進め、県内外でのPRを強化します

③ 次代を担う人材育成と起業支援

- ・営農サポートによる担い手の確保と、集落ごとの農地集約化を進めます
- ・農林業体験やキャリア教育を充実させ、将来の人材育成と産業継承を促します

4

重点
プロジェクト

みらいにわたって 住み続けられるまちづくり

誰もが安心して暮らせるよう、防災力の強化や医療・福祉の充実、便利で安全な交通インフラを整備します。住民同士の支え合いによる安全・安心の基盤を築き、未来にわたり住み続けられる町を実現します。

今後の
主な
取り
組み

① 保健予防・医療の充実

- ・町営診療所を安定的に運営していきます

② 危機管理体制の強化

- ・自主防災組織への若手や女性参画を促します

③ 生活安全の確保

- ・特殊詐欺等の被害防止を徹底します
- ・主要交差点への防犯カメラ整備を進めます

④ 道路網の整備

- ・将来の人口動態を意識した道路整備を進めます

⑤ 公共交通機関の確保

- ・町営バスのダイヤやルートを見直します
- ・ライドシェアの導入を検討します

⑥ 快適な生活環境づくり

- ・水道施設や水道管の耐震化を計画的に進めます

⑦ 効率的な行政運営の推進

- ・オンラインでの申請手続きや施設予約を進めます

⑧ 質の高い行政サービスの提供

- ・コンビニ交付の導入を引き続き検討していきます
- ・広域連携も推進し、持続可能な行政運営を行います